

[008] 文獻探究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/10117>

出版情報：文獻探究. 8, 1981-06-07. 文献探究の会
バージョン：
権利関係：

にとつて致命傷となりかねないだろう。大
学が変らなかつたのには、それだけの理由
があるものであり、その最も大きな点は、左
に述べたような、教師と学生との間の、い
わば無償の奉仕作業によつて支えられ、そ
れが両者の信頼関係を成立たせていること
にあらうと思う。

右に述べたさまざまのことは、私が、だ
から困る、といおうとしてゐるわけではな
く、これでしかやつていけないのだ、とい
う意味のものである事は、理解してもらえ
るだろう。(未完)

——九州大学教授——

会 員

飯倉洋一	高山倫明
稲川順一	田坂憲二
大木桃子	田中潤子
大橋百合子	中條順子
小野望	中原豊
柏原卓	中村萬里
上村朗子	榎田良照
辛島正雄	野口義廣
木部暢子	花田俊典
国生雅子	花田富二夫
坂口至	福井迪子
崎村弘文	望月正道
白石良夫	矢野準
園田豊	山県浩
高橋敬一	和田勉

編 集 後 記

「文献探究」第八号をお届けします。

○ 今号は国語学三編、国文学三編の論考を
載せることができました。もつとも、最近
入会したメンバーの投稿が一編もなかつた
ことは、反省すべき事だと言わざるをえま
せん。

○ 今井先生より「研究室のあれこれの事」とい
う文章を御寄稿いただきました。「文
庫訪問の心得」とは、また一味違った御発
言かと思ひます。

○ 次号は、十二月初旬刊行の予定です。

(飯倉記)

〈題字〉今井源衛教授
〈表紙〉三好清一氏